

# 積極的な水辺空間を活用した 「重信川かわまちづくり」の推進について

---

国土交通省 四国地方整備局  
松山河川国道事務所  
工務第一課

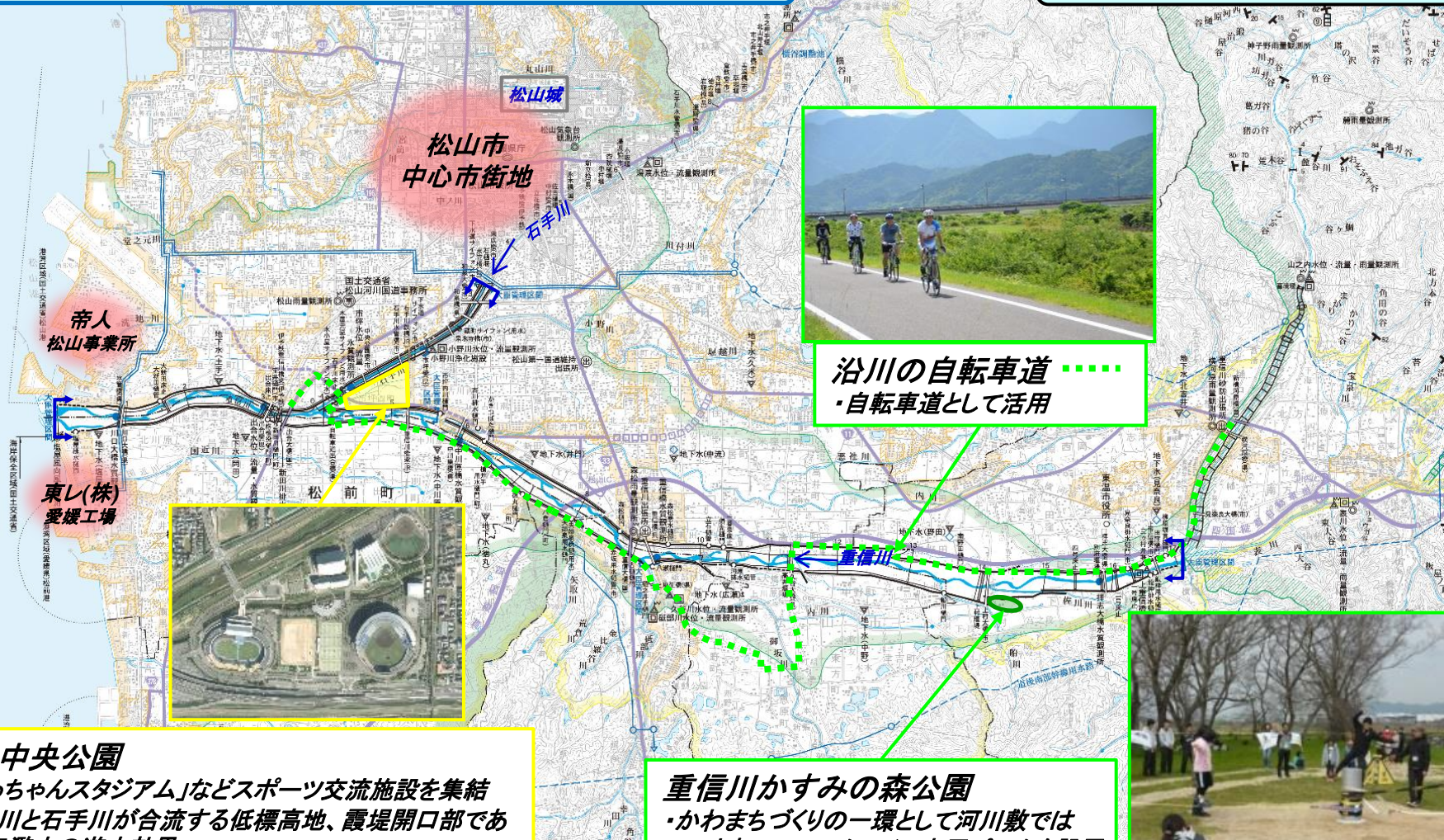
# 重信川水系の概要

## ■特徴

- ・重信川の直轄管理延長は17.16km 石手川の直轄管理延長は3.3km
- ・重信川流域には、松山市をはじめとする3市2町(人口約63万人)が存在
- ・流域面積は約445km<sup>2</sup>で、全国109水系中96番目
- ・瀬戸内海式気候で平均降水量は少なく、瀬切れが頻発し、**濁水の心配も多い**
- ・重信川沿いには**伏流水が湧き出す泉**が130箇所存在

## ■主要事業

- 河川改修：漏水対策、局所洗掘対策
- 河川維持：堆積土砂撤去
- 環境整備：湿地環境の再生、サイクリングロード整備 (H31.3認定)



**沿川の自転車道**  
・自転車道として活用



**松山中央公園**  
・「坊っちゃんスタジアム」などスポーツ交流施設を集結  
・重信川と石手川が合流する低標高地、霞堤開口部であり、氾濫水の遊水効果



**重信川かすみの森公園**  
・かわまちづくりの一環として河川敷では日本初のスラックライン専用パークを設置

## 愛媛県の施策：自転車県としてのブランド化

- ・「サイクリストの聖地」しまなみ海道での国際サイクリング大会の定期開催
- ・しまなみ海道自転車通行無料化
- ・姉妹自転車道協定締結しまなみ海道×台湾「日月潭」
- ・地域資源と組み合わせたツアー商品造成 等



高速道路や瀬戸内の美しい島々を舞台に行うサイクリング大会(サイクリングしまなみ)



CNNテレビで世界7大サイクリングルートの一つに選定

- ・愛媛県では、『地域経済の活性化』に向けた主要プロジェクトの一環として、『自転車新文化』を推進。
- ・サイクリングパラダイス愛媛の実現に向けて重点的、広域的に整備するモデル的エリアを順次設定。
- ・重信川は、体験型アクティビティの一つとして整備をすすめるため、平成30年9月3日、重点戦略エリア設定。
- ・今後、『地域経済の活性化』に向けた施策を進めていくこととしており、河川管理者と連携した種々の取り組み(ハード・ソフト)を実施していく。

## 重信川かわまちづくりとの連携



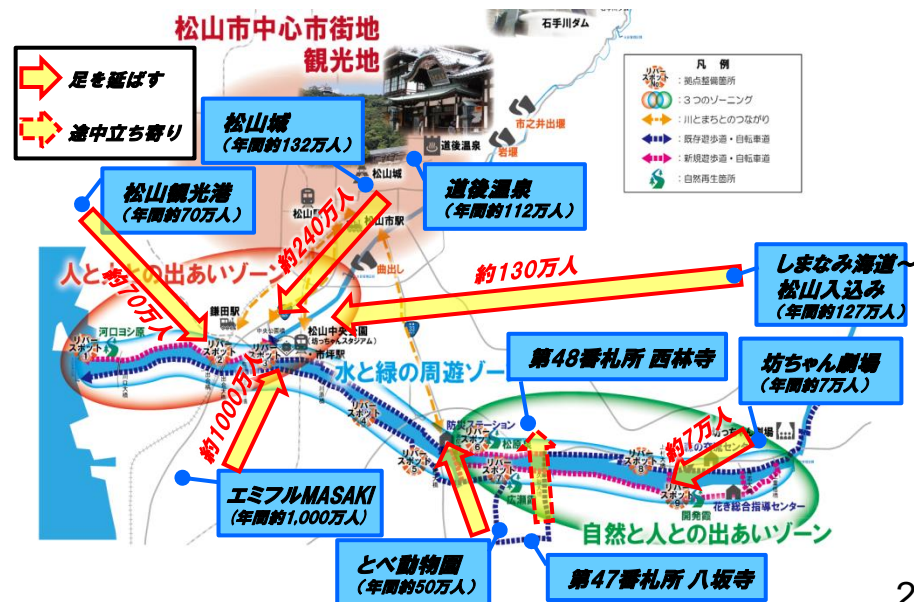
道後温泉等の観光施設からも近く、初心者でも手軽にサイクリングを楽しめる環境



## 県外客やインバウンド等への効果



・松山(道後)を訪れる観光客や、大型クルーズ船寄港時におけるインバウンドへの体験型アクティビティの提供



# 重信川かわまちづくり事業の進捗状況(R5.4月時点)

## ◆重信川かわまちづくり事業計画（H30年度策定） ※リバースポット9箇所の環境整備

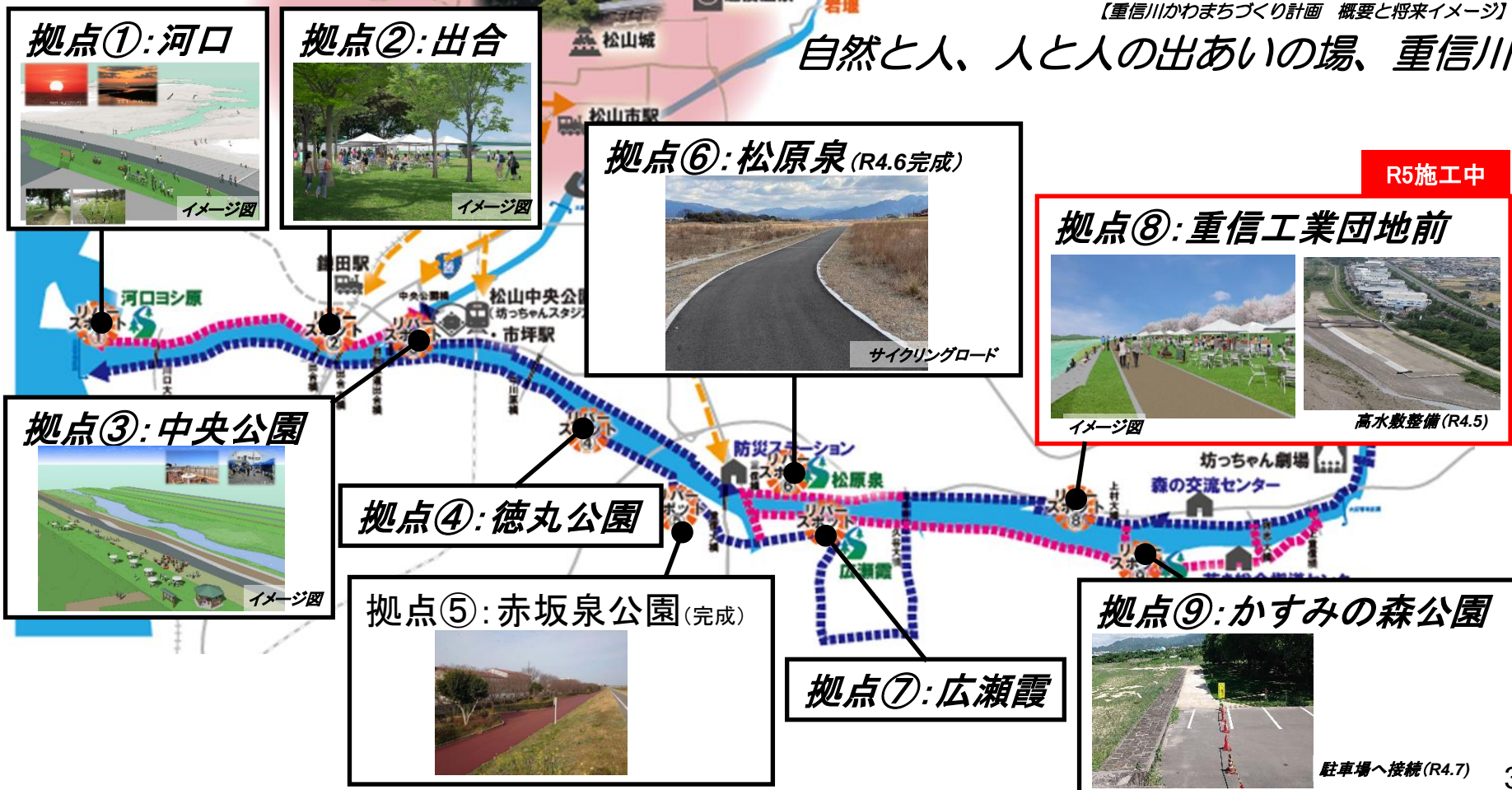
### 【事業概要】

- 愛媛県では、しまなみ海道を中心に、全県域でサイクリング環境の充実に取組んでいる。
- 重信川沿川もサイクリングロードの更なる活用を図るため、かわまちづくり事業を実施。
- サイクリングロードの整備、橋梁等分断箇所の解消、サイクルスタンド・ベンチ等を設置。
- 自然体験の場や、利活用拠点としてリバースポットを設け、重信川全体の魅力向上を図る。

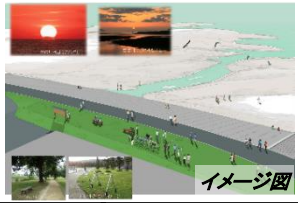
凡例	
	: 拠点整備箇所
	: 川とまちとのつながり
	: 既存遊歩道・サイクリングルート
	: 新規遊歩道・サイクリングルート
	: 自然再生箇所

【重信川かわまちづくり計画 概要と将来イメージ】

自然と人、人と人の出あい、の場、重信川



### 拠点①: 河口



### 拠点②: 出合



### 拠点⑥: 松原泉 (R4.6完成)



### 拠点⑧: 重信工業団地前



### 拠点③: 中央公園



### 拠点④: 徳丸公園

### 拠点⑤: 赤坂泉公園 (完成)



### 拠点⑦: 広瀬霞

### 拠点⑨: かすみの森公園



- かわまちづくり計画作成及び申請までは、「懇談会」「協議会」で検討を実施。
- 整備したリバースポット、サイクリングロード等の利活用を推進するため「推進協議会」を設置。

## 重信川かわまちづくり懇談会 (H29.8~)

《目的》  
『かわまちづくり計画』の作成にあたっての意見交換等を行うもの。計画に関する要望・助言(基本方針等の作成)

《委員構成》  
・愛媛大学学識者(矢田部教授・松村教授・三宅教授)  
・民間事業者等  
(サイクルショップフィールド社・重信川エコリーダー・松山白鷺ライオンズクラブ等)  
・松山河川国道事務所(河川副所長)

## 重信川かわまちづくり協議会 (H29.8~)

《目的》  
『かわまちづくり計画』を作成するもの。計画作成に関する検討(要望等に関する計画調整)

《委員構成》  
・流域市町関係課長  
(松山市・東温市・松前町・砥部町)  
・愛媛県  
(総合政策課自転車新文化推進室・中予地方局)

連携調整

## 重信川かわまちづくり計画の登録【H31.3】

かわまちづくり計画に基づく事業実施(国、県、市町)【R2~R7】

リバースポット、サイクリングロードなどの平常利用やイベント活用などを検討・推進  
→「重信川かわまちづくり推進協議会」の設立【R4.6】

## 第1回

### 開催概要

- 開催日時：令和4年 6月 8日（水）（WEB会議）
- 出席者：学識者、民間団体、国交省、愛媛県、自治体など（構成員18名中、参加者数 15人）
- 議事内容：経緯と事業概要。協議会設置主旨、規約。現在の整備状況。利活用に関する意見交換

### 意見交換での意見（抜粋概要）

- 重信川のサイクリングロードの今後の整備、利活用に期待したい。
- 活動主体がベースになった取り組みを下支えすることが大事。
- 利用者マナーの啓発や、ルール検討などにより安全面も配慮。
- 自治体でも取り組みで協力できることに取り組んでいきたい。

など



第2回



## 第2回

### 開催概要

- 開催日時：令和5年 7月 25日（火）（WEB併用）
- 出席者：学識者、民間団体、国交省、愛媛県、自治体など（構成員18名中、参加者数 15人）
- 議事内容：1.第1回重信川かわまちづくり推進協議会での意見及び今後の検討項目について  
2. **新たなサイクリングモデルコース・ガイドの作成及び自転車と歩行者の共存におけるルール・マナーの作成について**  
3.かわまちづくり整備箇所の積極的な利活用について

### 意見交換での主な意見

#### ○サイクリングロード

- ・「重信川サイクリングロード」は、子供が喜ぶ・重信川が身近に行ってみたいと思うような愛称をつけてほしい。
- ・ガイドマップは、重信川の治水・利水・環境の内容も入れて重信川の学習にも繋げてほしい。

重信川かわまちづくり推進協議会 構成員名簿

	所属	役職
行政機関	松山市 都市整備部	道路河川管理課長
	東温市 産業建設部	都市整備課長
	松前町 産業建設部	まちづくり課長
	砥部町	建設課長
	愛媛県 観光スポーツ文化部	自転車新文化推進課長
	愛媛県 中予地方局 建設部	建設企画課長
	愛媛県 中予地方局 地域産業振興部	地域政策課長
有識者	松山東雲女子大学	石川和男 名誉教授
	愛媛大学	矢田部龍一 名誉教授
	愛媛大学社会共創学部環境デザイン学科	松村暢彦 教授
	愛媛大学大学院理工学研究科	三宅洋 教授
	愛媛大学社会共創学部環境デザイン学科	羽島剛史 准教授
市民団体等	Vertマルシェ	代表
	サイクルショップフィールド社	経営者
	NPO森からつづく道	代表
	松山白鷺ライオンズクラブ	会長
	松山商工会議所	地域振興部長
事務局	国土交通省 四国地方整備局	松山河川国道事務所 副所長

※自治体は代表部局が参画し、必要な内容は各自体内で共有。

「自転車と歩行者の共存におけるルール・マナーの作成」について、全国の先進事例や重信川の実例等を参考に議論(意見交換)を実施している。

## ○[参考]全国のルールマナー対策事例

・自転車 歩行者レーンの設置  
(石川県七尾市 御祓川)



自転車と歩行者の  
走行位置を分離

・注意喚起看板の設置  
(京都府京都市御池通り)



・徐行区間の指定とパンフレットによる啓発(神奈川県横浜市都築区)



・路面標示の例

**自転車と歩行者、互いの気づきが安全に暮らせるまちをつくります**

都政では、自転車・歩行者の安全確保を促進して暮らせるまちづくりを進めるため、「グリーンマトリックス」をいかに自転車・歩行者安全策に取り組みています。重点的の重点地区での自転車歩行者専用道路や緑道の安全対策にご協力ください。

**自転車通行のためのルートを設定**

**自転車歩行者専用道路**  
自転車歩行者専用道路は歩行者専用道路と併設し、歩行者の安全を確保するため、自転車と歩行者が安全に通行できるようにします。

**自転車通行空間の確保**  
自転車は軽便な乗り物ですが、歩行者と衝突する恐れがあります。歩行者の安全を確保するため、自転車と歩行者の通行空間を確保します。

**緑道**  
緑道は原則、自転車通行が禁止されています。しかし、迂回路がなく、緑道通行が認められている区間は、歩行者優先を前提として、自転車の通行が認められています。自転車の通行が認められている区間は、自転車の通行が認められています。

**歩道**  
歩道は原則、自転車通行が禁止されています。しかし、迂回路がなく、歩道通行が認められている区間は、歩行者優先を前提として、自転車の通行が認められています。

**歩道の併用**  
歩道は原則、自転車通行が禁止されています。しかし、迂回路がなく、歩道通行が認められている区間は、歩行者優先を前提として、自転車の通行が認められています。

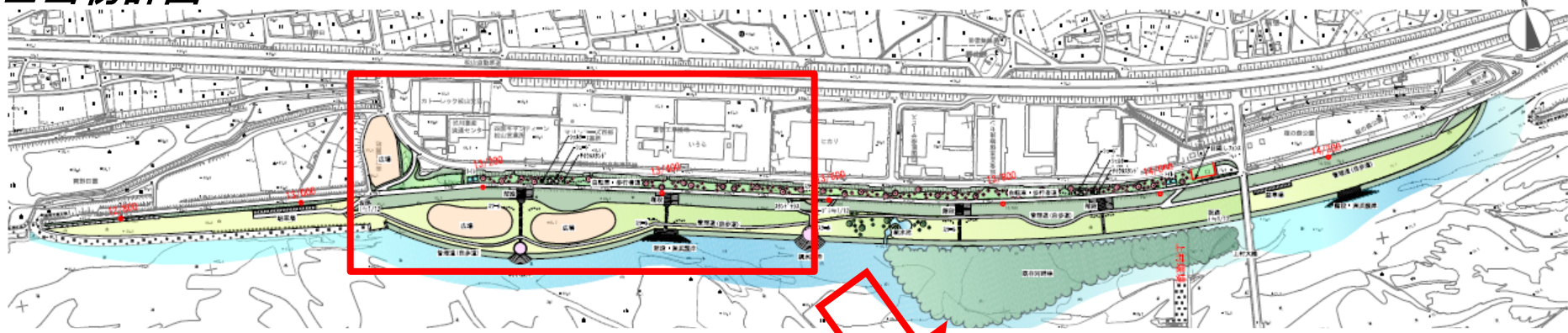
**新しい通行ルール・マナーを守って安全で快適なまちづくり**

自転車が通行する位置を指定し、自転車と歩行者の通行を分け、お互いに接触する危険を少なくします。

① マーク(路面標示)の見直し  
平成27年度の調査結果の検証を踏まえ、自転車の通行位置や歩行者歩道区間などのマークを見直ししました。マークの中にも一部は、1枚のマークです。

・自転車の通行位置と進行方向の表示 + 徐行を促す路面標示  
・自転車、歩行者双方にパンフレットによるルール・マナー順守の啓発

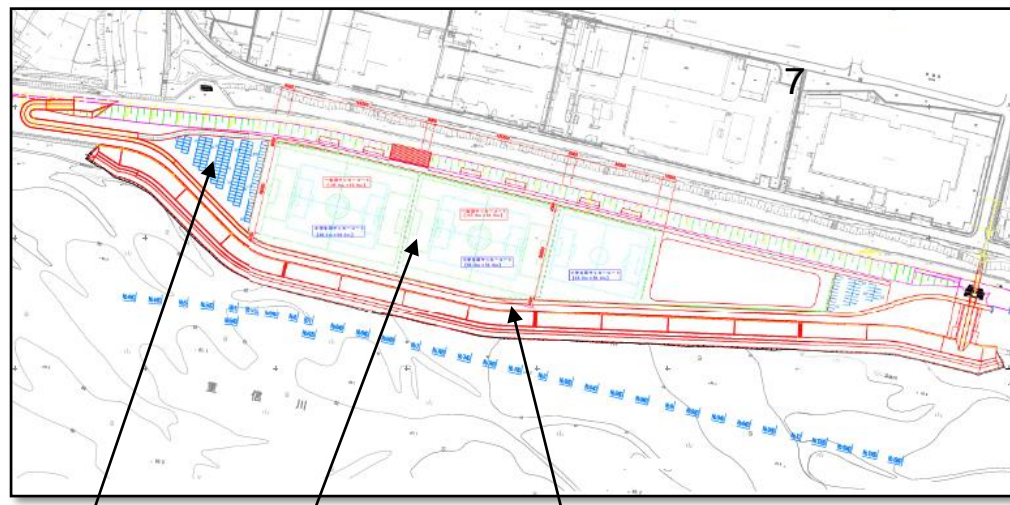
## ■当初計画



施工前(R3.4)

## 整備イメージ

整備箇所の積極的な利活用の設計協力:(株)荒谷建設コンサルタント



駐車場

サッカーグラウンド

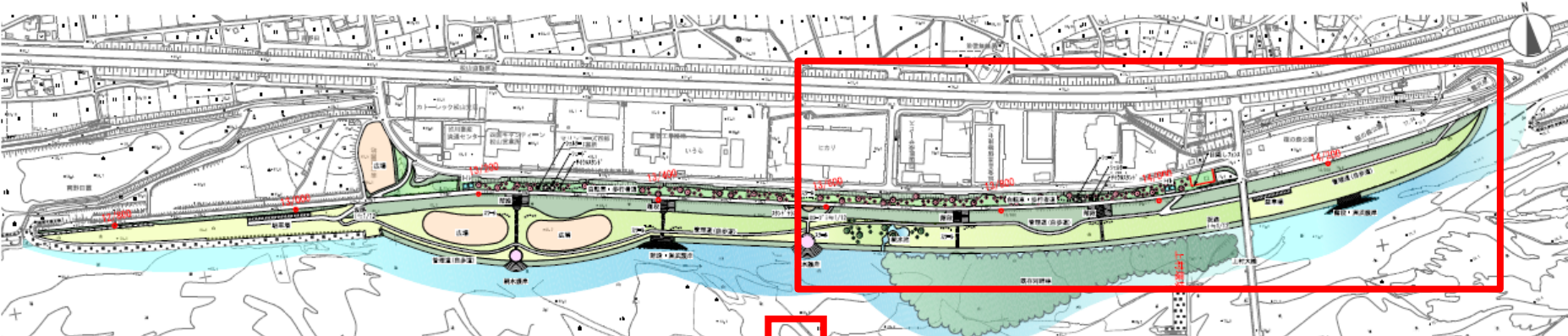
サイクリングロード



当初計画イメージパス

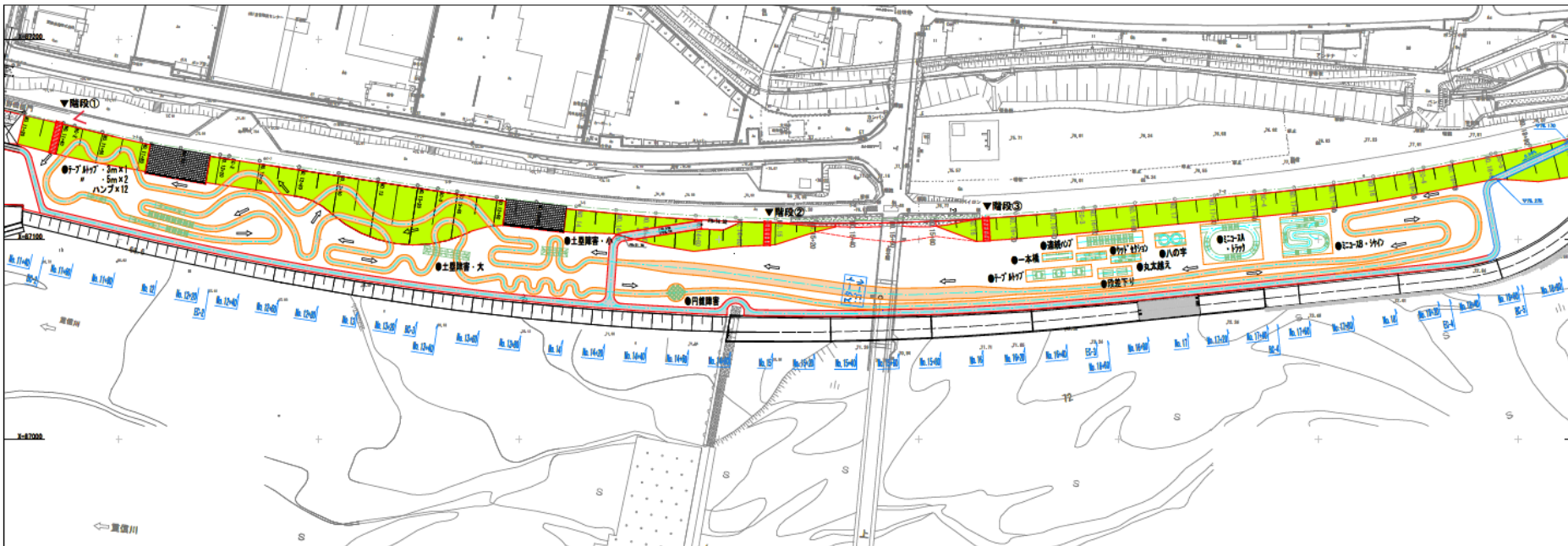


## ■当初計画



## 整備イメージ

整備箇所の積極的な利活用の設計協力: (株)荒谷建設コンサルタント



# 民間事業者も交えた関係者との事前協議

東温市（自治体）

国土交通省

民間事業者



## シクロクロス

舗装されていない道路で行われる自転車競技で、秋から冬にかけて行われることが多く、舗装路、未舗装路、芝、急坂、障害物などの含まれる短い(2.5-3.5km)コースを、自転車に乗車・降車・担ぐ等しながら周回し、ゴールの順番や所要時間を争う。



## 第2回 重信川シクロクロス in 東温市

○日時：令和5年1月8日（日）8:30～16:00

○場所：かすみの森公園（東温市管理：河川占用箇所）

○規模：かすみの森公園の一部を利用してコースセッティング、参加者数 200人  
開催に対する各管理者の対応

○公園管理者（東温市）

\*かすみの森公園での開催許可、高水敷を駐車場スペースとして許可

○河川管理者（国土交通省）

\*河川環境の啓発活動、ピン・コーン等のコース備品の貸出、高水敷除草、進入ゲートの開放



## Vert マルシェの開催（フリーマーケット）

- 日時：令和5年5月4日（木）10:30～16:00
- 場所：かすみの森公園（東温市管理：河川占用箇所）
- 規模：出展数 約40ブース、参加者数 1,000人程度

## 開催に対する各管理者の対応

- 公園管理者（東温市）：かすみの森公園での開催許可
- 河川管理者（国土交通省）・河川占用者（東温市）：高水敷を臨時駐車場として許可（一時使用）



◆OGAWARA MTB S-PARK (スパーク) の事業の実施について

MTB (マウンテンバイク) プロライダー井手川直樹氏とタッグを組み、白石川右岸河川敷の未利用部に新たな賑わい空間を創出するため、子供から大人まで誰でも楽しめる、MTBパークを令和4年4月に完成させた。



## 工夫した事例

- ・かわまちづくり計画や各整備箇所の日常利用等についての検討を官・民・学が連携し、かわまちづくり推進協議会を通じて密接な関係のもと進めていること。
- ・ミズベリングでの積極的な利活用をきっかけにかわまちづくり整備箇所の積極的な検討が進められていること。